

ブルーベリー栽培に適した根域制限栽培方法					
[要約] ブルーベリーの根域制限栽培は、不織布製透水シートを地上に置いたベッド式にすることで土壤水分を高く維持することができ、樹冠の拡大が早く高い収量が得られる。					
果樹試験場・落葉果樹研究担当				連絡先	0952-73-2275 kajushiken@pref.saga.lg.jp
部会名	果樹	専門	栽培	対象	ブルーベリー

## [背景・ねらい]

ブルーベリー栽培では定植時に通気性・排水性を高め、土壤 pH を低下させる大がかりな土壤改良が必要であり、水田転換園等は栽培に向かないとされている。そこで、根域制限栽培方法を確立することで栽培不適地でのブルーベリー栽培を実現する。

## [成果の内容]

1. ベッド式根域制限栽培は埋め込み式根域制限栽培よりも樹冠の拡大が早い (表 1)。
2. ベッド式根域制限栽培は埋め込み式根域制限栽培よりも土壤水分の変化が少なく、土壤水分が高く維持される (図 2)。
3. ベッド式根域制限栽培は埋め込み式根域制限栽培よりも収量が多く、土壤水分が高いことによる果実品質の低下は確認されない (表 2)。

## [成果の活用面・留意点]

1. この試験では不織布製透水シート上に幅 70 cm・高さ 30 cm の培土をのせて、地上に置いたものをベッド式とした。埋め込み式は幅 70 cm・深さ 40 cm の穴に 10 cm 程度のもみ殻を敷いて暗渠パイプを通し、その上に不織布製透水シートを敷き培土をのせた (図 1)。
2. 培土は山土 (赤土) : ピートモス : バーク堆肥 = 5 : 4 : 1 (容量比) とし、樹間 1.8m、列間は 3m とした (176 本/10a)。
3. 植付けにかかる費用は、培土、不織布製透水シート、マルチシート、かん水資材、タイマーなどを合わせて 10a あたり 135 万円程度である。
4. かん水は自動タイマーを利用して、土壤表面にマルチ (タイベック 400WP) を被せた状態で、4 月は 3 日、5 月は 2 日、6 月～7 月は 4 日おきにかん水 20L/樹を実施した。7 月 20 日以降は雨除けを外して降雨を確保し、7 月 20 日～9 月 15 日まで降雨の無い日は 1 日おきに 20L/樹かん水を実施した。9 月 15 日以降はかん水を実施していない。

[具体的なデータ]

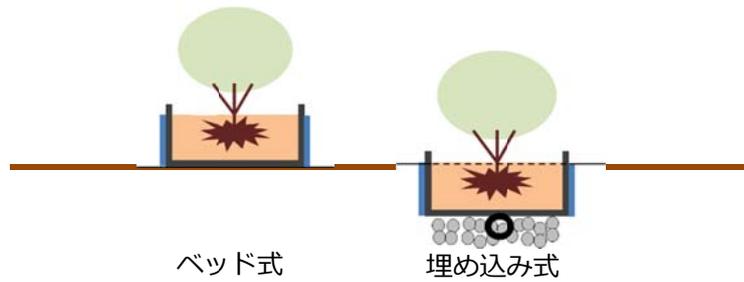


図1 根域制限栽培方法 (イメージ)

表1 根域制限栽培方法の違いがブルーベリーの樹容積に及ぼす影響

品種	根域制限方法	樹容積(m <sup>3</sup> )		
		定植前	定植1年後	定植2年後
ティフブルー	ベッド式	0.25	1.15	5.24
	埋め込み式	0.30	0.35	1.57
ブライトウェル	ベッド式	0.02	0.92	2.65
	埋め込み式	0.04	0.68	2.12

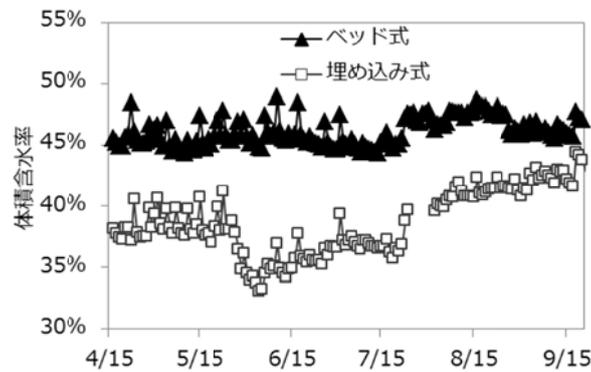


図2 根域制限栽培方法の違いが土壌水分 (深さ 15 cm) の推移に及ぼす影響 (2016年)

表2 根域制限栽培方法の違いがブルーベリー(定植2年目)の果実品質に及ぼす影響

(2016年・雨除け栽培)

品種	根域制限栽培方法	収穫		総収量 (g)	果実数 (個)	1果重 (g)	糖度 (Brix)	酸度 (%)
		(始)	(終)					
ティフブルー	ベッド式	6/30	8/10	2122.9	1345	1.6	12.4	0.70
	埋め込み式	7/14	8/10	865.0	563	1.5	11.1	0.63
ブライトブルー	ベッド式	6/30	8/5	2185.4	1102	2.0	11.9	0.47
	埋め込み式	6/30	8/5	1676.7	826	2.0	11.6	0.60

[その他]

研究課題名 : 佐賀県で選抜したブルーベリーおよびスモモ優良品種の新技术導入による高品質安定生産

予算区分 : 県単

研究期間 : 2012~2016 年度

研究担当者 : 加藤恵、福田浩幸、古賀晴香